

3 平成30年度の実績報告における小項目別検証確認方法（看護大）

区分	大項目／中項目	小項目数	通し番号	業務実績報告書 頁数	検証・確認方法	所要時間
第1ブロック	第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	1	01～21	P8～18	①特筆すべき取組 ②年度計画に比べ遅れていると認められる項目について、コメントを付す	説明5分 質疑応答5分
第2ブロック	2 研究に関する目標を達成するための措置	28	22～49	P19～37		説明5分 質疑応答5分
	3 地域貢献に関する目標を達成するための措置					
第4ブロック	4 教育研究組織と実施体制に関する目標を達成するための措置	22	63～84	P45～57	自己評価（Ⅰ～Ⅳ）が適当でないと認められる項目について、検証欄に適切な評定を示すとともに、その判断理由を示す 年度計画の設定が妥当でないと認められる項目についても、判断理由を示す	説明5分 質疑応答5分
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置					
第3ブロック	第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	22	63～84	P45～57	自己評価（Ⅰ～Ⅳ）が適当でないと認められる項目について、検証欄に適切な評定を示すとともに、その判断理由を示す 年度計画の設定が妥当でないと認められる項目についても、判断理由を示す	説明5分 質疑応答5分
第4ブロック	第4 教育及び研究並びに組織及び運営の状況についての自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	22	63～84	P45～57		
	第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置					

自己評価の区分		判断の目安
Ⅳ	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
Ⅲ	おおむね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
Ⅱ	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
Ⅰ	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下